

主催大会等の開催における感染予防ガイドライン

令和 4 年 5 月 13 日

鹿児島県高体連テニス専門部

鹿児島県テニス協会高校競技部

本ガイドラインは、日本スポーツ協会、日本テニス協会がこれまでに発表したガイドライン等の情報によって、鹿児島県テニス協会が感染拡大予防のための留意点をまとめたものに基づいています。大会に参加される選手・会場に来場される応援者の皆様におかれましては、大変ご不便をおかけしますが、皆様の安全安心を守るためという趣旨をご理解の上、大会にご参加いただきますようお願いいたします。なお、大会の開催にあたっての基本的な考え方については、県高体連が示す「[主催大会等の開催における感染拡大予防ガイドライン](#)」をご覧ください。ご不明な点は、鹿児島県高体連テニス専門部 蘭牟田（080-3187-0008）までお問い合わせください。チームの申込責任者以外の方からのお問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

1 大会の開催にあたって

- (1) 大会の開催については、今後の地域の感染状況を踏まえ、関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否を判断します。県内外における感染拡大の兆候やスポーツイベントにおけるクラスターの発生があった場合、県の協力の要請等に基づき、無観客化、中止、延期等の適切な対応を行います。
- (2) 大会に参加する場合は、学校として責任を持って、会場への移動時や宿泊時、会場での更衣室、休憩・待機スペースの利用時など、大会における競技活動以外の場面も含め、選手、引率者等の感染防止対策を講じてください。なお、原則として引率責任者は、参加校の感染予防責任者を兼ねるものとします。
- (3) 大会前に、学校内で感染等が判明した場合は、当該校は速やかに主催者に報告し、今後の対応について連携を図ってください。
- (4) 大会期間中、大会に参加していた選手、引率者等に感染が判明した場合は、感染者および濃厚接触者に特定された方は、行動自粛が解除されるまで大会に参加できません。参加者は、保健所などの聞き取りに協力し、その指示に従うとともに、感染拡大防止に努めてください。その後の大会の継続、中止の判断については、保健所等の指導に従い主催者で判断します。
- (5) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部に対して速やかに報告するとともに、濃厚接触者の有無等についても報告してください。また、鹿児島県、医療機関等へ個人情報を提供する場合があることをご了承ください。
- (6) 大会開催に向けた準備費拠出のため、中止となった場合にも大会参加費を全額返金いたしかねる場合があります。

2 選手・引率者・応援者の方へお願い

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加・来場を見合わせてください。
- ① 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に感染の疑われる方がいる場合
 - ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ④ その他、新型コロナウイルス感染の可能性がある症状がある方
- (2) 来場する全選手および部活動顧問・役員は、大会2週間前から大会期間中の検温を行ってください。また、別紙「体調チェック表(生徒用・部活動顧問・役員用)」に基づいた、体調チェックをお願いします。
- (3) マスクを持参してください。コートに入っている選手・審判以外の方は、必ずマスクを着用してください。熱中症の恐れがあるため、プレイ中のマスク着用は不要です。
※ マスクの着用がない方は、入場をお断りする場合があります。
- (4) 選手は、大会本部の定める場所で待機してください。
- (5) 来場の応援者は、原則チーム関係者(保護者、学校関係者等)に限ります。応援は、大会本部の定める応援スペースで行ってください。入場する際には、会場で検温の上、名簿への記名をお願いいたします。なお、大会会場で選手と接触することを禁じます。また、本大会に参加される選手が試合に集中できる環境を作るにあたり、大会運営に関する応援者からのご要望には一切応じかねますので、予めご了承ください。引率者は、大会当日の応援者を把握し、応援者の有無に関わらず各日の日程終了後に、別紙「チーム関係者入場者名簿」を提出してください。
- (6) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、タオル・ウェア・キャップなどの用具・用品の共用は避けてください。
- (7) 選手・応援者・部活動顧問・役員は接触を避け一定の間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保することを心がけてください。特に、他の学校との競技外での交流は控えてください。バッグ・チェアー・手荷物等の保管場所の間隔も、なるべく空けてください。
※ 介助を必要とする方がいらっしゃる場合を除きます。
- (8) 握手、ハイタッチ、肩を組むなどの競技以外での身体接触を控え、ミーティング等も短時間で行い、密にならないようにしてください。
- (9) 会場で大きな声で会話することは避け、応援は拍手のみとします。
- (10) 飲食の際は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底してください。また、飲み物の回し飲みはしないでください。
- (11) 更衣室等を使用する場合は、原則としてマスクを着用し、会話や食事は控えてください。

- (12) 会場内で購入したドリンク類、他から持ち込んだ飲食物などのゴミ類(使用済マスク・ティッシュ等)は必ず全て自分で持ち帰ってください。
- (13) 試合終了後は速やかに退場していただき、会場の密集を避けてください。
- (14) その他、主催者の定めた感染症予防対策の措置や指示に従うようお願いします。

3 試合の手順

- (1) 引率者は出場する全選手の体調チェック表を確認する。その後、本部の混雑状況を確認して、エントリー受付をする。その際、⑩の項目に○×を記した引率者用体調チェック表のみを提出する。大会前の体調の状態から新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合や当日のいずれかの項目に×がついている選手がいた場合は、保護者および管理職に連絡して帰宅させる。
※ 体調チェック表を提出されない選手は、当日の体調に関係なく試合に出場できない場合があります。
- (2) 選手は、オーダーオブプレイ板にて、試合コート・進行状況を確認する。密集を避けるため、周辺に留まらない。
- (3) エントリー番号の若い選手は、本部にてボールを受け取っておく。試合が次に控えるときは、コートのそばの多くの人が集まらない場所で待機する。
- (4) 前の試合が終了したら、選手が完全にコートから退場した後に入場する。そのため、試合を終えた選手は、ベンチ・審判台・得点板・タオルホルダー等を除菌した後、速やかにコートから退出する。
- (5) 試合開始前の挨拶とトス、試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行い、試合後の握手はしない。
- (6) 審判のコールは通常通り行う。
- (7) ダブルスではインプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離の会話・ハイトッチ・握手は避ける。
- (8) ラケットやボールなどプレイに必要なもの以外は、コートサーフェスを含めできるだけ手を触れない。
- (9) スコアボードは、コートチェンジの際に自分のスコアのみ変える。
- (10) 試合の勝者は、オーダーオブプレイ板に貼られた自分のボードを取り、それより下に貼られたボードを上にする。ボールを本部に返却し、自分のボードを提出して結果報告をする。前に別の報告者がいるときは、距離を保って待つ。
- (11) 試合終了後は、必ず手洗い・消毒等をする。
- (12) 感染予防対策を優先するため、開・閉会式は縮小した形で行うものとする。実施する場合は、必要最小限の出席者とするとともに、整列する際等は、周囲の人とできるだけ2m(最低1m)を目安に距離を空ける。